

「城里町ふれあいの船」事業 in 北海道



いきいき城里事業として、町内の小学校6年生を対象に、「城里町ふれあいの船」事業を4泊5日にわたって実施しました。今年で4回目となるこの事業は、北海道の雄大な自然の中で、活動や船での集団活動を通して、通常の学校生活では得られない自然とのふれあいや互いの心のふれあいを経験し、心身ともに調和のある人間形成を図ることを目的としています。

今年合計165人が船の旅に参加しました。

A 班
学校別班割り
7月28日(火)～8月1日(土)
石塚小学校、小松小学校、青山小学校

B 班
学校別班割り
8月4日(火)～8日(土)
学校別班割り
坏小学校、岩船小学校、北方小学校、沢山小学校、七会東小学校、七会西小学校

第1日目

【午後3時】常北公民館で出発式
出発式では、A班は興野一樹君(小松小学校)が、B班は柏瑠音さん(北方小学校)が参加者代表あいさつを行いました。家族に見送られる中元気に城里町を出発しました。



【午後5時】大洗港着・乗船夕食
荷物の整理をしたあと、出港前に船中で最初の食事をとりました。みんなおいしそうに食べていました。



【午後6時30分】大洗港出港
デッキから見送りにきた人たちに手をふり、いよいよ出港です。

第2日目

【午前6時】起床
レストランにて朝食



【午前9時】はがき作成・デッキ・ブリッジ見学
朝食の後、部屋に戻り、家族あてに送るはがきを書きました。

その後、船長さんの説明により、操舵室を見学しました。



【午前10時】ふれあいゲーム
子どもたちは、高校生(リーダー)と一緒にゲームを楽しみました。



【午後1時30分】苫小牧港到着
下船後、バスに乗りして、一路有珠山へ向かいました。

【午後3時30分】有珠山到着
ボランテニアガイドの案内で有珠山西山火口を散策しました。噴煙が立ち込める自然の驚異を体感しました。

また、植林体験を行い、地球温暖化について考えながら木の成長を願いました。



【午後6時】洞爺湖パークホテル天翔着
夕食会場ではご飯の歌を合唱。楽しい食事の時間でした。その後、夕べの集いではそれぞれ自分たちの学校を紹介しました。大きなお風呂での入浴の後各部屋から洞爺湖湖上花火を楽しみました。



第3日目

【午前6時】起床
レストランにてバイキング朝食

「午前10時」尻別川ラフティング(川くだり)



楽しみにしていたラフティング。A班では20度と気温の低い中カッパ着用で、B班では晴天の中、それぞれのボートに分かれ水バトトルでボート流あいさつを互いに交わり、仲間たちと力を合わせ、自然を満喫し川くだりを楽しみました。



よさこいソーラン発祥の地札幌で、大学生のボランティア

アに教えてもらいながら踊りを体験しました。みんな汗をかきほど一生懸命踊りました。

「午後4時45分」羊ヶ丘展望台見学

札幌市内が見渡せる丘より、クラーク博士の銅像の前で記念写真を撮影。買い物も楽しみました。



「午後6時着」札幌全日空ホテルにて夕食

今日の疲れを忘れさせるシエフの料理を堪能しました。



「午後7時15分着」札幌エクセルホテル東急

花とみどりいっぱいの中島公園を望むことができるホテル

ルに宿泊。ゆっくりベッドで疲れをいやしました。

第4日目

「午前6時」起床

バイキング会場にて朝食

「午前10時」旭山動物園到着

楽しみにしていた旭山動物園では、リーダーを中心に別行動。今年オープンしたばかりのエゾシカの森やオオカミの森などで動物の生態を学習しました。



「午後4時30分」苫小牧港着・乗船

いよいよ帰りの船です。荷物の整理をし、出港前に食事をとりました。

「午後6時45分」苫小牧港出港

北海道との別れを惜しみつつ、デッキから船が離岸する

風景を楽しみました。

第5日目

「午前6時」起床

レストランにて朝食

「午前9時30分」感想文作成

船内で、ふれあいの船での体験活動について感想文を書きました。その後、体験したよさこいソーランのビデオを鑑賞。笑いがたえませんでした。



「午前10時45分」解散式

船内で解散式を行い、この体験活動のまとめとしました。参加者代表のあいさつを、A班の森島彩さん(石塚小学校)、B班の萩谷夏美さん(沢山小学校)が行いました。

最後に子どもたちからリーダーの高校生に対して感謝のことばが述べられ、感謝する姿も見られました。

「午後2時15分」大洗港着

「午後3時30分」常北公民館到着・解散

4泊5日の体験活動が終了しました。

子どもたちはふれあいを深める中で、集団生活におけるルールやマナー等を身につけることができ、また、引率者として参加した高校生も、児童との生活で日に日に成長がみられました。

子どもたちは5日間の団体生活を通して互いに助け合い、認め合い、感謝しあうという気持ち芽生え、解散式ではそれが深い感動となって表れました。貴重な体験からそれぞれが素晴らしい成長を遂げ、非常に有意義な船の旅となりました。

